

地域型住宅
グループ紹介
グリーン化事業

第18回

NPO法人 大工村 「職人がキラリと輝く大工村の家づくり」

工務店をPRしつつ

地域を守る人づくりを推進



大工村が発行するニュースレター“クラシカル”“わくわく新聞”は、地域の幼稚園や金融機関で配布。子育て世帯を情報発信のターゲットとし、彼らがよく訪れる場所として選択

大工村が発行するニュースレター“クラシカル”“わくわく新聞”は、地域の幼稚園や金融機関で配布。子育て世帯を情報発信のターゲットとし、彼らがよく訪れる場所として選択

静岡県西部の大工・工務店などが組織するNPO法人大工村は、大工・工務店による住まいづくりの普及とともに、地域の防災に関する活動などを取り組んでいる。代表を務めるのは、静岡県磐田市材木店・㈱カワイの川合伯員社長。同社は、ともども、木工機械等を備えて無料で利用できる作業場“大工村”を社内に設置するなど、地域の大工・工務店を支援する活動を行ってきた。

2008年には、住まいづくりのポータルサイト“大工村.com”(http://daikinura.com/)を開設した。小さな工務店が単独で

川合伯員社長によると、「大工村.com」では、多くの工務店が集まり、地域を守るために活動も拡大。2年前には、NPO法人として認可を受けた。まいつりのポータルサイト“大工村.com”を開設した。

大工村の活動も拡大。2008年には、住まいづくりのポータルサイト“大工村.com”を開設した。

静岡県西部の大工・工務店などが組織するNPO法人大工村は、大工・工務店による住まいづくりの普及とともに、地域の防災に関する活動などを取り組んでいる。代表を務めるのは、静岡県磐田市材木店・㈱カワイの川合伯員社長。同社は、ともども、木工機械等を備えて無料で利用できる作業場“大工村”を社内に設置するなど、地域の大工・工務店を支援する活動を行ってきた。

2008年には、住まいづくりのポータルサイト“大工村.com”を開設した。大工村の活動も拡大。2年前には、NPO法人として認可を受けた。まいつりのポータルサイト“大工村.com”を開設した。

静岡県西部の大工・工務店などが組織するNPO法人大工村は、大工・工務店による住まいづくりの普及とともに、地域の防災に関する活動などを取り組んでいる。代表を務めるのは、静岡県磐田市材木店・㈱カワイの川合伯員社長。同社は、ともども、木工機械等を備えて無料で利用できる作業場“大工村”を社内に設置するなど、地域の大工・工務店を支援する活動を行ってきた。

静岡県西部の大工・工務店などが組織するNPO法人大工村は、大工・工務店による住まいづくりの普及とともに、地域の防災に関する活動などを取り組んでいる。代表を務めるのは、静岡県磐田市材木店・㈱カワイの川合伯員社長。同社は、ともども、木工機械等を備えて無料で利用できる作業場“大工村”を社内に設置するなど、地域の大工・工務店を支援する活動を行ってきた。

ならない。川合社長

づりを通じて人

づきの軸だ。

それ以外にも、大工

の仕事をPRする“大

工職人まつり”、子と

おしゃれ通り、住宅

供給側の意識向も

いと言うのもおかしい。とはいっても、消費者に働きかけないまま、受注が獲得できなくなっている。代表を務め

た防災訓練“イザンカ

エルキヤラパン”など

が、大工や工務店の

を通じて事前防災

も工務店”など、イベ

ントを積極的に開催

好事を得ている。

川合社長はまた、工

務店が防災意識を持つ

ことが重要だと考え

る。つまり、住宅の復

旧・補修は、大工や

工務店が不可欠。しか

し、大きな被害を受け

てしまえばそれもまた

ならないため、工務店

も災害時のリスクを減

らし、いち早く復旧や

修理のために活動でき

る。実は、ブランド化

決めるに当たっても、

送っていたという。

地域型住宅グリーン

化事業には、平成27年

度の第2回募集で初め

て応募し、採択され

た。実は、ブランド化

を守るという

た。まずは、地域型住

宅グリーン

化事業への応募は見

て事業への応募は見

て事業への応募は見